

新しく鳥取市となった地域を
シリーズでお知らせします。



北に日本海、南に標高五百メートルを超える山地がそびえ立つ、海の碧さと山の緑が印象的なまち、青谷。

夏には海を照らす漁り火、年間を通して県内外から多数訪れるサーファー、全国に誇れる「鳴り砂」の浜。夏泊集落には、山陰唯一となった海女の姿が見られるなど、青谷を特徴づけるものの一つに「海」というキーワードは欠くことができません。

「川のある風景」も青谷の特徴の一つ。勝部川、日置川がまちを南北に走っており、勝部川の支流である八葉寺川では、清流の力を誇示するがごとく、初夏にホタルが乱舞します。また、日置川に沿った河原、山根といった集落では、古くから製紙業が営まれており、因州和紙は全国で初めて伝統工芸品に指定されました。そして、その風情ある紙漉きの音は、「残したい日本の音風景百選」の認定を受

けています。

「日本初」「日本最多」「日本最古」など、数多くの貴重な発見が相次いだ青谷上寺地遺跡。約千八百年前の「弥生人の脳」が日本で初めて発見され、その良好な保存状態が注目されたのは記憶に新しいところです。これら数々の出土品が、いまだ残る弥生人の謎を解き明かす鍵となるかもしれません。

まだまだ、このまちにはたくさんの個性があります。悠久の時間とともに創造された豊かな自然と共存し、調和しながら築いてきた産業や文化、人の生業が、このまちにはしっかりと息づいています。

